

セーフティネットおよび特定の子どものみ家庭向けカリフォルニア労働機会・育児責任 (CALWORKS) の新規則

あなたの家庭が対象となる養育規則が改正されました。CalWORKsの現金援助は、お子様のみが対象となります。あなたに關係する変更は以下のとおりです。

- あなたは、郡に対して、お子様の養育権を「割り当てる」必要はなくなりました。しかし、LCSA(Local Child Support Agency：地域の子供援助局)に養育費の徴収を依頼し、あなたおよびお子様に対する給付を受けることになります。
- あなたが、お子様の親権者(不在)の搜索または、お子様の実父確定などのLCSAの子供支援サービスを希望されない場合、助成額に変更はありません。
 - 親権者搜索、および、実父確定は、あなたが必要とする場合、将来の養育費の徴収に役立つことを認識する必要があります。
 - 将来、あなたが現金援助の対象となった場合、異なる養育規則が適用される可能性があります。
- 親権を持たない両親から与えられる、または、LCSAが徴収した養育費のすべてを保持することができるようになります。郡に返金する必要はありません。
- LCSAで既に養育費をオープンケースにしている場合は、徴収された養育費を得るために必要な手続きは特にありません。養育費の金額と着金日を記録してください。あなたが得た養育費を郡に報告する必要があります。
- LCSAで養育費をオープンケースにしていない場合は、LCSAで、子供支援を申請し、必要に応じて、お子様の実父確定を行い、お子様の養育費を徴収を依頼し、あなたが受けるようにする必要があります。郡役所がこの件についての支援を行います。
- LCSAが徴収し、あなたが受け取る養育費は、今後あなたの家族に支払われる補助金の返済にはならないため、大人向け48ヶ月のCalWORKs時間記録時計の補助金月数の「対象外」になります。
- あなたが養育費を直接受け取っている場合は、その事例に適用される収入報告書を提出する必要があります。
- CalWORKsによって養育費を得ている場合は、毎月50米ドルを合計から控除します。残りの金額はCalWORKsの対象となる場合があります。
- あなたがCalFreshも得ている場合は、得られる養育費を補助金額の算出の際考慮することがあります。

ご不明な点は郡までお電話ですぐにお問い合わせください。